

研究課題

聞く力・話す力を高める英語家庭学習のあり方の研究

副題

～携帯音楽プレーヤーの活用を通して～

学校名	洋野町立大野第二中学校
所在地	〒028-8804 岩手県九戸郡洋野町帯島7-50-161
学級数	4
児童・生徒数	43名
職員数／会員数	15名
学校長	小原 眞一
研究代表者	藤村 貴
ホームページ アドレス	http://www.star7.jp/ohno2chu/

※平成23年度に閉校・統合につき校名及び連絡先が変更されました。
(文末に記載)



1. はじめに

(1) 本校を取り巻く環境

本校は、1学年15名、2学年15名、3学年12名、聞こえの教室1名、全校生徒43名の小規模校である。インターネットを使用できるパソコンや携帯電話を持っている生徒が少なく、新聞を取っている家庭も多くないため、情報源が限られている。また、中学卒業後の進路は、ほとんどの生徒が地元の高等学校を希望しており、学習に対する動機づけが難しい環境である。

(2) 生徒の実態

全体的に落ち着いた生活を送っており、非常に素直で純朴な生徒たちである。一方で、物事に取り組む際の内発的動機づけが弱く、自ら目標を持ち、上を目指して頑張ろうという気持ちに欠ける。

2. 研究の目的

研究課題を、「聞く力・話す力を高める英語家庭学習のあり方の研究～携帯音楽プレーヤーの活用を通して～」と設定した。小規模校のメリットとして、1人に1台 iPod を持たせることができるということを利用し、主に家庭学習での活用を中心に実践に取り組んだ。

現状として、本校の生徒は全体的に学力が低く、英語学習に苦手意識を持っている生徒が多い。また、実用英語検定試験に挑戦する生徒が多くない。家庭で学習する習慣がない。内容が充実していないなどの課題がある。iPodでの家庭学

習を行い、英語に触れる時間を増やすことで、英語が分かる生徒、英語学習を楽しんでいる生徒が多くなり、意欲的に学習に取り組むことで英語力を向上させることを目的とした。

3. 研究の方法

- (1) ALTが作成したビデオ教材をiPodに入れ、生徒一人ひとりに持ち帰らせて宿題として取り組ませる。
- (2) ALTによる模範音読をiPodに入れ、生徒が持ち帰って音読練習に取り組み、成果を発表する。
- (3) 生徒が話す英語を録音し、発音改善に役立てる。
- (4) アンケートを実施し、生徒の英語学習に対する変容を調査する。

4. 研究の内容

- (1) ALTが作成したビデオ教材をiPodに入れ、生徒一人ひとりに持ち帰らせて宿題として取り組ませる。

ALTによるビデオ教材を使った宿題に、2、3年生は1年間で15回、1年生は5回に取り組んだ。取り組んだ内容は以下の通り。

○2、3年生

- 1回目 ALTの部屋をビデオで撮影しながら、ALTの部屋の様子と1日の生活についてALTが話し、その後に英語の質問に対して英語で答える。
- 2回目 ALTの出身地であるネブラスカ州について説明を聞き、ワークシートの穴埋めを行う。(ディクテーション)



写真1 2、3年生第2回宿題ビデオより

Movie #2 Homework
 <宿題>

Dictation <書き取り>
 Please fill in the blanks with the appropriate words. < () のところに適当な言葉を入れてください>

Let's learn about Nebraska!

_____ is in the middle of _____.
 It's like _____. There _____ a lot of farms and it is also very _____.
 Nebraska is _____ for college _____. The football team is _____.
 Many people _____ to _____ football. It's Nebraskan Culture.
 Lincoln is _____ capital of Nebraska, but it is _____ the biggest city.
 Omaha is larger _____ Lincoln. It is the _____ city in Nebraska.
 Omaha is famous for its big _____. It is _____ the Henry Doorly zoo.
 _____ is the desert dome. It was _____ 10 years _____.

Please come to Nebraska to visit.

写真2 2、3年生第2回ワークシート

3回目 ALT がドラゴンボールのキャラクターである悟空と悟飯を演じ、2人の会話を聞いて True or False と選択肢の問題に答える。

4回目 盛岡市に遊びに行った ALT の1日の過ごし方を聞き、その後10問の選択肢や記述の問題に取り組む。

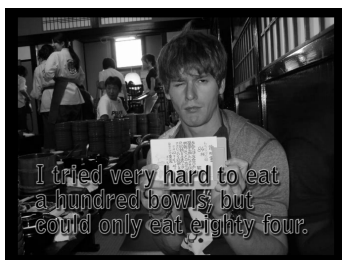


写真3 2、3年生第4回宿題ビデオより

5回目 マンガのキャラクターを演じる ALT の話を聞き、ワークシートの穴埋め問題 (ディクテーション) に取り組む。

6回目 ALT の函館旅行の話を読み、英語の QA に筆記で答える。

7回目 ALT による対話を聞き、英語の QA に筆記で答える。

8回目 ALT の読む英文を聞き、英語の QA に筆記で答える。

9回目 ALT の尋ねる 10 個の質問を聞き、選択肢の中から答えとして正しい英文を1つ選ぶ。

10回目 ALT による対話を聞き、英語の QA に筆記で答える。

11、12 回目 マンガのキャラクターを演じる ALT の英語を聞き、英語の質問に筆記で答える。

13 回目 ALT たちの温泉旅行の英文を聞き、ワークシートの問題に答える。

14 回目 ALT が話す、アメリカの若い人たちに人気のスポーツを紹介する英文を聞き、ワークシートの問題に答える。

15 回目 ALT による、冬休みを利用して帰国した時の生活を紹介する英文を聞き、ワークシートの問題に答える。

○1年生

1 回目 ALT のたずねる英語の質問を聞き、答えとして正しいものを選択肢から選ぶ。

簡単なスピーチを聞こう First graders video 2

Name _____

	Brent	Masashi	Mario
年齢は?	1.	5.	9.
好きなことは?	2.	6.	10.
それを何日にする	3.	7.	11.
他にわかったことは?	4.	8.	12.

写真4 1年生第2回宿題ワークシート

2回目 マンガのキャラクターを演じる ALT の対話を聞き、必要な情報をワークシートに記入する。

3回目 ALT の姉を紹介する英文を聞き、ワークシートの問題に答える。

4回目 ALT の話す英文を聞いて、ワークシートの問題に答える。

5回目 ALT の話す英文を聞いて、ワークシートの穴埋め問題に取り組む。

Movie 5 for 1st graders

Name _____

iPod をよく聞いて対話の通りに下記の空白に言葉を書いてください。

How (1) _____ classes do you have (2) _____?

I have (3) _____ classes.

What (4) _____ does your first class start?

My first (5) _____ starts at (6) _____.

What time do you finish (7) _____ classes?

I finish at (8) _____.

How (9) _____ are the classes?

They are (10) _____ minutes long.

写真5 1年生第5回宿題ワークシート

(2) ALTによる模範音読をiPodに入れ、生徒が持ち帰って音読練習に取り組み、成果を発表する。

2年生は、“Try To Be the Only One” (New Horizon English Course book 2)、3年生は“The Fall of Freddie the Leaf”(New Horizon English Course book 3)で、音読発表を行った。その準備として、ALT の模範音読を iPod に録音し、家庭学習として音読練習の宿題に取り組みさせた。その結果、ALT の発音やイントネーションを真似して音読する生徒が多くいた。

(3) 生徒が話す英語を録音し、発音改善に役立てる。

生徒が、自分の部屋や、自分の1日の生活をj紹介する英文、既習事項を使い、家族に質問をして答えてもらう英文を

iPod に録音させ、提出させた。教師は生徒の話す英文を見聞きして評価をし、生徒には自分が発した英文を聞くことで英語の発音を確認し、その後の英語の発音改善に役立てるよう伝えた。

(4) アンケートを実施し、生徒の英語学習に対する変容を調査する。

1年生を対象にして、11月と3月の2回、2・3年生を対象に、5月と11月と3月の3回、英語学習に関するアンケートを実施した。「英語を学習するのが好きか」、「英語を聞く、話す、読む、書く活動がそれぞれ好きであるか」や、iPod の活用に関する質問を実施し、生徒の意識の変容を調査した。また、生徒が興味のあるものをビデオの題材にしたと考え、トピックの希望をとるなどして要望に応えられるよう努めた。

5. 研究の成果と今後の課題

(1) 成果

アンケート結果より、「英語を聞く活動が好きか」や、「苦手な活動は何か」という問に対し、大きな変容は見られなかった。変容があった項目としては、「英語を好きか」という問に対して、11月の時点でどちらかといえば好き、とても好きが合わせて40%であった1年生は、3月に60%になった。2年生は5月の時点で40%であったが、3月に61.5%になった。また、iPod の宿題が英語学習の役に立つと感じている生徒は、11月、3月ともに、「とてもそう思う」と回答した生徒が約35%、「そう思う」と回答した生徒が約50%で、合わせて85%以上の生徒が、iPod が英語学習の役に立っていると感じていることが分かった。iPod の宿題が「とても面白い」「面白い」と感じている生徒は、11月の時点で67%であったが、アンケートを基に内容の改善に努めたところ、3月のアンケートでは9割以上の生徒が面白いと感じていることが分かった。

諸調査による分析より、9月に3年生11名を実施した英語チャレンジテストのリスニング正答率を見ると、11名中6名の生徒が、7割をこえる正答率であった。また、11月に1、2年生を対象に実施した平成22年度岩手県学習定着

度状況調査では、2年生の11個のリスニングのうち、「キーワード（電車）を聞き、正しく書くことができる」と「キーワード（数を表す語）を聞き、正しく書くことができる」の2つの項目で、県平均を大きく上回る正答率が見られた。

最後に、実用英語検定試験の受験者、合格者の変容を分析した。受験者は、第1回4名（4級4名）、第2回4名（準2級1名、4級1名、5級2名）、第3回9名（準2級1名、3級1名、4級7名）の計15名で、学年別に見ると、1学年0名（0%）、2学年9名（60%）、3年生は6名（50%）。全受験者のうち合格者は、準2級1名、4級10名、5級2名の計13名であった。

以上の結果より、英語学習に対して肯定的な考えの生徒が増え、積極的に検定試験に挑戦する生徒が見られたと言える。また、iPod の宿題は楽しく役に立つものだと感じている生徒が多くいることが分かった。

(2) 課題

1つの宿題を作成するのに、題材を考え、動画や写真を撮影し編集する作業にかなりの時間が費やされた。更に、学年毎に学習した表現や語彙が異なるために、それぞれの学年に合わせた宿題を考える必要があり、今年度はALTが本当に熱心に頑張ってくれたが、ビデオ教材、ワークシートを作成するのが精一杯であった。そのため、年月をかけて少しずつ教材を蓄積していく必要性を感じた。学力差があるために、全員が取り組むことができ力になる宿題をどのように課し、全員に確実に取り組ませることも課題となった。また、アンケート結果から、英語を聞くことが苦手と感じている生徒の意識に変容が見られないことから、英文を聞かせる量や質にも改善点があったと感じている。

6. おわりに

1年間 iPod を活用した家庭学習に取り組んでみて、時間や労力はかなりかかるが生徒の興味を引きつける教材であることを確信した。次年度は本校が統合するために、1人に1台 iPod を持ち帰らせることが困難になる。今年度の課題を基に、新たな方法での活用を考え、生徒達の更なる英語力向上に努めていきたい。

※大野中学校
〒028-8802 岩手県九戸郡洋野町大野 9-39-1 に学校統合致しました。